

# 漁海況情報

第604号(令和4年10月14日発行)

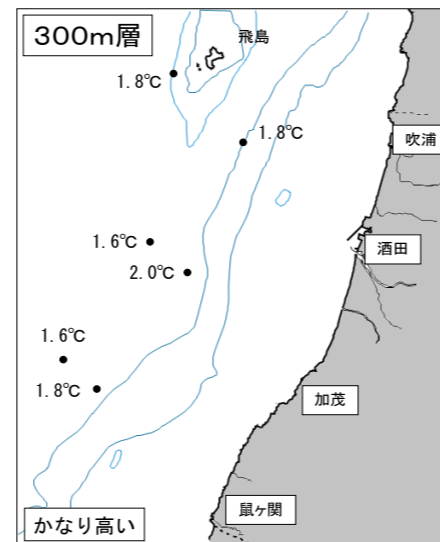
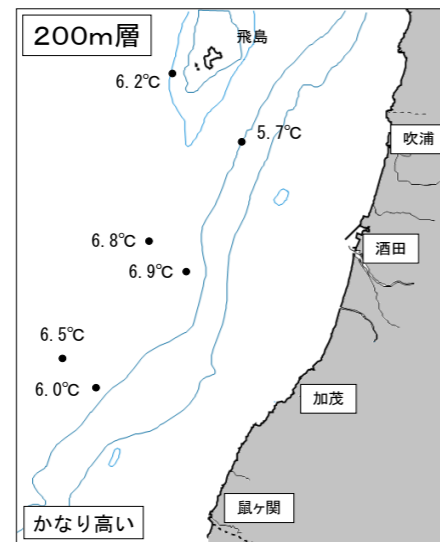
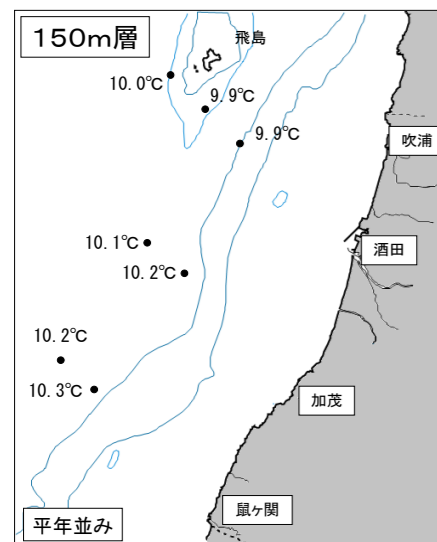
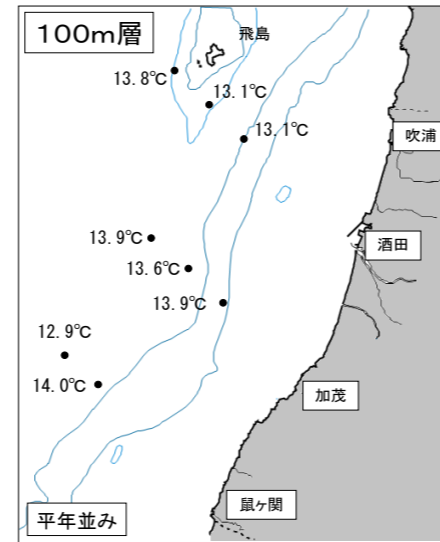
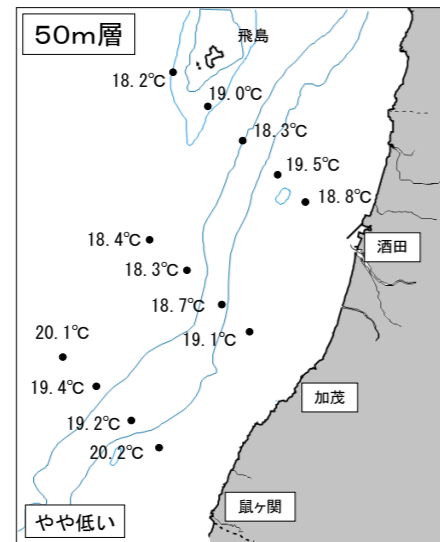
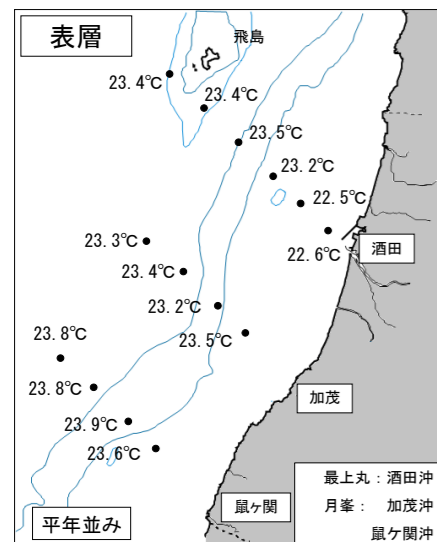
発行:山形県水産研究所 〒997-1204 鶴岡市加茂字大崩594  
TEL0235(33)3150 FAX0235(33)0379  
ホームページ: <http://www.pref.yamagata.jp/ou/norinsuisan/147010/>

- ・水産研究所「最上丸」と庄内総合支庁水産振興課「月峯」は、9月27日と10月3日に沿岸の水温観測を実施しました。その結果、表層、100m層および150m層は「**平年並み**」、50m層は「**やや低い**」、200m層および300m層は「**かなり高い**」でした。
- ・9月の地先水温は鶴岡市加茂(水産研究所)、鶴岡市三瀬(栽培漁業センター)ともに「**平年並み**」でした。
- ・国立研究開発法人水産研究・教育機構が10月7日に発表した「2022年度第3回日本海海況予報」によると、日本海北部における対馬暖流域の表面水温は「**平年並み**」、50m深水温は「**かなり高め**」で経過します。
- ・大型クラゲは県内では10月2日以降は出現情報がなく、大量出現の可能性は低いと思われます。

沿岸25海里定点各層別の平均水温

	表層	50m層	100m層	150m層	200m層	300m層
本年	23.4	19.0	13.5	10.1	6.3	1.8
前年差	+0.1	-2.3	-0.9	+0.5	+1.4	+0.2
平年差	+0.6	-1.1	-0.4	+0.2	+1.2	+0.3
評価	平年並み	やや低い	平年並み	平年並み	かなり高い	かなり高い
(前月評価)	(平年並み)	(はなはだ高い)	(平年並み)	(やや低い)	(平年並み)	(やや低い)

評価の表現: "平年並み"は約2年に1回, "やや"は約4年に1回, "かなり"は約10年に1回, "はなはだ"は約20年以上に1回の出現確率を表しています。



地先平均水温(9月)

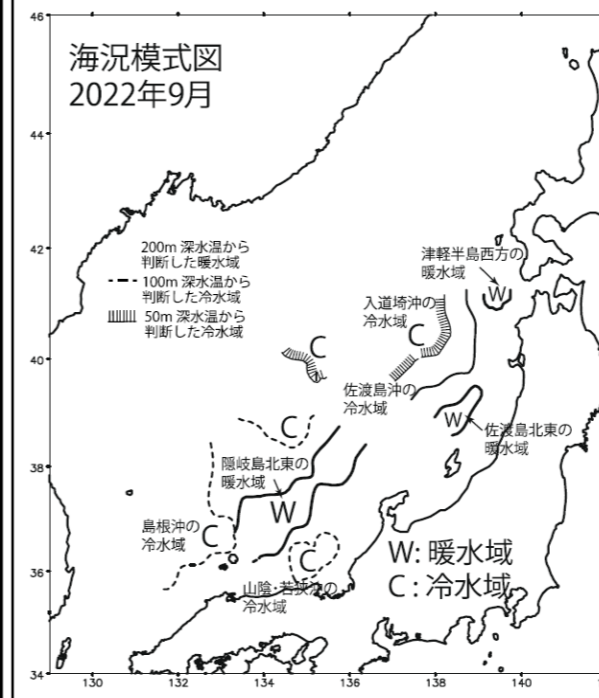
場所	水温	前年差	平年差	評価
水産研究所(鶴岡市加茂港内)	25.2	+1.4	+0.6	平年並み
栽培漁業センター(鶴岡市三瀬地先)	25.3	+0.6	+0.2	平年並み

## 1 2022年度第3回日本海海況予報

(国立研究開発法人水産研究・教育機構 10月7日プレスリリースより作成)

### 今後の見通し(2022年10月中旬~12月)のポイント

- ・対馬暖流域の表面水温は**"平年並み"**で経過する。
- ・対馬暖流域の50m深水温は日本海西部は**"平年並み"**、北部は**"かなり高め"**で経過する。

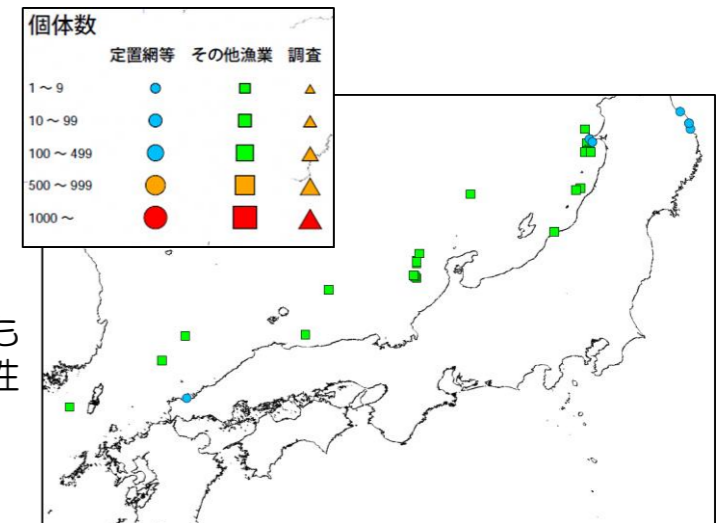


- #### 2022年10月中旬~12月の海況
- 隠岐諸島北東の暖水域は定在する
  - 佐渡島北東の暖水域はやや西に移動し、佐渡島北西に分布する
  - 津軽半島西方の暖水域は勢力を弱めつつ南西に移動し、男鹿半島北西に分布する
  - 島根沖の冷水域の張り出しは、規模は平年並み、接岸距離はやや接岸で経過する
  - 山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは、規模はかなり大きく、接岸状況はやや接岸で経過する
  - 佐渡沖の冷水域の張り出しは、規模はかなり小さく、接岸状況ははなはだ離岸で経過する
  - 入道崎沖の冷水域の張り出しは、規模はやや小さく、接岸状況は平年並みで経過する
- ※"平年並み"は約2年に1回, "やや"は約3年に1回, "かなり"は約7年に1回, "はなはだ"は約22年に1回の出現確率

## 2 大型クラゲ出現情報

○県内では10月2日に底びき網で1個/日の目撃情報がありましたが、その後は入網などの情報はありません。

○日本海の広い範囲で入網はあっても1~2個程度で、大量出現の可能性は低いと思われます。



(一般社団法人 漁業情報サービスセンター ホームページより)

# 9月の漁況

- 延べ操業隻数は1,682隻で前年比98%、総漁獲量は460トンで前年比80%でした。
- 底びき網漁業の漁獲量は190トンで前年比128%でした。タイ類、ホッケ、ノドグロ(アカムツ)およびスルメイカは前年を上回り、ヒラメ、口細(マガレイ)、ねさし(マコガレイ)、ヤナギムシガレイ、その他のカレイ類、ハタハタ、アカラ(ハツメ)およびマダラは前年を下回りました。大羽(ムシガレイ)、アンコウ、紅エビ(ホッコクアカエビ)およびタコ類は前年並みでした。
- 採貝藻漁業の漁獲量は12.3トンで、前年比91%でした。サザエは前年並みでした。
- はえなわ漁業の漁獲量は5.1トンで前年比55%でした。タイ類、ブリ類、アマダイおよびサバは前年を上回り、サワラ、メバル類およびノドグロ(アカムツ)は前年を下回りました。
- 定置網漁業の漁獲量は2.2トンで前年比52%でした。サケ、ブリ類、アジおよびアオリイカは前年を下回りました。
- その他の漁業では、さし網漁業のウスメバル、あまだいさし網漁業のアマダイ、ごち網漁業のタイ類、一本釣り漁業のブリ類およびかご漁業の浅海性バイ類は前年を上回り、船凍いか釣り漁業およびいか一本釣り漁業のスルメイカ、さし網漁業のキスは前年を下回りました。

- \* 前年比は平成29～令和3年までの平均値と比較した値です。
- \* 前年比85%～115%は「前年並み」、前年比84%以下は「前年を下回る」、前年比116%以上は「前年を上回る」としました。
- \* 小数点以下を四捨五入して表示しているため、合計が合わない場合があります。

## 全漁業支所別漁獲量

支所	吹浦	飛鳥	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	66	324	323	76	191	103	84	515	1,682	111%	98%
漁獲量	7,162	10,731	271,590	56,933	27,586	14,062	1,827	70,508	460,399	75%	80%
前年比	140%	307%	59%	118%	121%	102%	48%	125%	75%		
前年比	103%	120%	69%	115%	95%	90%	53%	104%	80%		

## 底びき網漁業

支所	吹浦	酒田	由良	豊浦	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	26	72	61	28	161	348	115%	107%
タイ類	253	17,951	1,892	135	6,084	26,315	173%	153%
ヒラメ	204	146	54	13	29	446	144%	46%
口細(マガレイ)	227	32	381	213	1,476	2,329	62%	39%
ねさし(マコガレイ)	159	1,086	714	224	231	2,414	189%	79%
大羽(ムシガレイ)	296	636	1,359	749	1,951	4,991	123%	95%
ヤナギムシガレイ	76	43	280	504	543	1,446	86%	49%
その他のカレイ類	104	8	910	301	865	2,187	128%	81%
ハタハタ	382		169	148	395	1,094	57%	24%
ホッケ	473	57,944	1,274	1,538	5,798	67,027	121%	212%
アンコウ	309	746	854	898	1,380	4,188	128%	95%
ノドグロ(アカムツ)	133	1,284	258	337	1,199	3,210	59%	123%
アカラ(ハツメ)			17	7	2,619	2,643	153%	59%
マダラ	1,110	1,106	547	608	3,367	6,737	110%	41%
紅エビ(ホッコクアカエビ)	90		90	49	11,575	11,804	123%	100%
スルメイカ	366	960	2,070	963	10,679	15,039	185%	203%
タコ類	169	86	283	324	1,575	2,436	104%	99%
その他	1,928	13,317	5,640	2,220	12,441	35,546		
計	6,278	95,345	16,792	9,230	62,206	189,851	130%	128%
前年比	136%	123%	139%	129%	138%	130%		
前年比	109%	163%	93%	117%	107%	128%		

## 採貝藻漁業

支所	吹浦	飛鳥	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	6	169	10	15	55	21	47	208	531	105%	106%
サザエ		3,619	78	348	1,629	562	1,009	4,600	11,844	106%	92%
その他	68		316		63			28	475		
計	68	3,619	394	348	1,692	562	1,009	4,628	12,319	107%	91%
前年比	457%	207%	249%	79%	101%	69%	79%	87%	107%		
前年比	61%	124%	270%	53%	64%	51%	74%	103%	91%		

※当所の採貝藻の隻数と漁獲量は、その他の漁業のイワガキを加えた値です。

## はえなわ漁業

単位:隻、kg

支所	吹浦	飛鳥	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	2	5	8	6	14	22	17	63	137	51%	53%
タイ類	1	6	2	75	14	76	279	611	1,064	642%	144%
ブリ類		718	5			22	12	78	834	1414%	962%
サワラ							16	49	65	1%	1%
メバル類		26		5	17	79		35	163	85%	41%
ノドグロ(アカムツ)		3	13		15			22	53	199%	20%
アマダイ	11				24	50	31	168	284	7670%	149%
サバ	32		92		58	25	204	987	1,397	404%	431%
その他	8	183	229	20	214	73	81	391	1,199		
計	53	936	341	100	343	323	623	2,340	5,059	48%	55%
前年比	47%	387%	156%	39%	57%	22%	25%	45%	48%		
前年比	11%	210%	86%	44%	60%	23%	31%	64%	55%		

## 定置網漁業

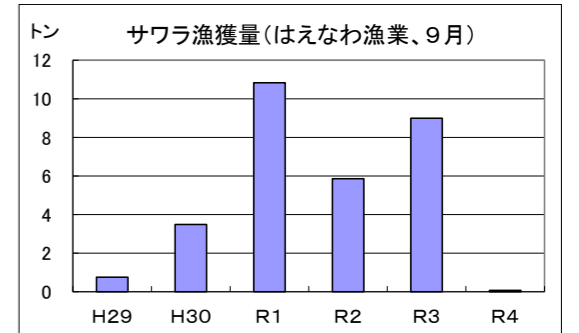
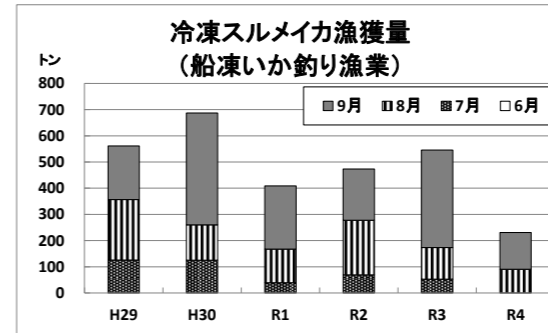
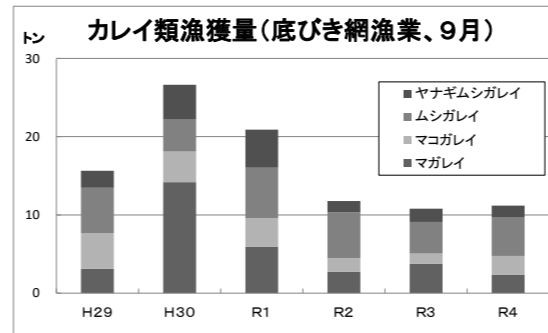
単位:隻、kg

支所	吹浦	加茂	由良	豊浦	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	2	1	9	2	14	82%	59%
サケ	12		85	17	113	45%	44%
ブリ類	5	7	358	57	426	74%	38%
アジ	20	126	553		699	16%	45%
アオリイカ		16	139	8	163	74%	55%
その他	92	117	527	71	806		
計	128	265	1,661	152	2,207	37%	52%
前年比			29%	94%	37%		
前年比	283%	136%	49%	26%	52%		

## その他の漁業

単位:隻、kg

漁業種類	船凍いか釣り漁業	いか一本釣り漁業	さし網漁業		あまだいさし網漁業	ごち網漁業	一本釣り漁業	かご漁業
延べ操業隻数	4	78	177		30	47	199	77
総漁獲量(kg)			5,273		2,938	12,180	6,103	6,515
前年比			288%		124%	115%	325%	107%
前年比			156%		130%	116%	278%	125%
対象魚種	スルメイカ	スルメイカ	ウスメバル	キス	アマダイ	タイ類	ブリ類	浅海性バイ類
漁獲量(kg)	140,456	26,310	4,043	101	2,405	11,581	2,757	6,479
前年比	38%	1660%	416%	102%	119%	114%	2448%	107%
前年比	49%	58%	215%	38%	125%	116%	554%	124%



**最上丸の調査予定  
(10月中旬～11月上旬)**

- ・海洋観測を行います。
- ・アカムツはえ縄調査を行います。
- ・ズワイガニ沖合漁場調査を行います。

みなさま、調査への御理解・御協力  
よろしくお願ひします。